

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成19年1月18日

No.1594

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮彦助

△ 事務局▽
島根県出雲市平田町 2280-1
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
I P 050-5204-5816
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@hit-5.net

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第 1 5 9 4 回	会員 木佐彰三・田中久雄	年男、大いに語る
第 1 5 9 5 回	会員 高砂明弘・内田節夫	年男、大いに語る
第 1 5 9 6 回	ホシザキグリーン財団 調査研究課長 森 茂晃様	宍道湖・冬の野鳥たち

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
4 8	4 1	7 (1)	8 7 . 2 3	—

欠 席 者 玉木・佐藤・園山・荒木・石橋・園 (石原恵)
M U 1/12大島卓・田中久・田中浩 (出雲南)

幹事報告

- 平田青年会議所
理事長 松浦剛司様 } 就任のご挨拶
専務理事 荒木克之様 }
- 地区バスターガバナー米原正博様より、2000年10月6日発生、鳥取県西部大地震義援金事業の経過報告書が届きました。
- 例会変更
○松江東RC 2/22(木) 創立20周年総決起例会 (夜間)
ピジター受付 定刻定例会場
- 玉木和夫会員住所変更
新住所 出雲市白枝町893-6

委員会報告

(社会奉仕) 年末に今年度上半期分の割り箸100kgを送りました。ご協力ありがとうございました。

スマイル

木佐・田中 年男です。

大谷 木佐、田中先輩、年男おめでとうございます。年男スピーチを楽しみにしています。

大島卓 本日の年男スピーチの木佐会員、田中会員、大谷会員 (来年の前倒しでスマイルのみ) スピーチの上スマイルをいただきありがとうございました。

黒田 社会奉仕委員会より、割り箸回収のお礼

高砂 父の葬儀には、ロータリー及び会員の皆様にご参りいただきありがとうございました。

2月1日例会受付当番

名原知漢・松浦 誠・森山俊雄

★松江南クラブ (月) 1/29
★出雲中央クラブ (月)
★松江しんじ湖 (火) 1/30

★出雲クラブ (火)
★松江クラブ (水)
★大社クラブ (水)

★平田RAC(第1・3水)
★松江東クラブ (木) 2/22
★出雲南クラブ (金)

会長挨拶

今日は平田が日本一の話をしてみたいと思います。皆さんはこの平田が全国で第一位、つまり日本一のものがあるのくらいあると思われませんか。あるいは全く無いと思われませんか。

今から20年位前だったと記憶していますが、全国の市でのいろいろなことについてのランキングだけを集めた本がありました。パラパラとめくってましたら一つだけ平田が全国で堂々第一位、日本一のものがありました。それは何かといいますとNHKの受信料の世帯あたりの契約率でした。今はどうか分かりませんが、日本一正直でまじめな町といっているいいかもしれません。

さて現在の平田で日本一といえますと、やはり石段の数が日本一多い一畑薬師と一畑薬師マラソン。十六島海苔は日本一値段が高く、味も日本一おいしいといわれています。また平田の出身で現在日本一といえば、錦織育子さんがいらっしゃいます。昨年開かれました織田記念陸上競技大会において、女子棒高跳びで4メートル36の堂々日本新記録で優勝、アジア大会で銅メダルを獲得されたのは記憶に新しい出来事です。もっともっと記録を伸ばしていただきたいと思います。

そしてまもなく着工されます北山の風力発電。完成しますと26基で最大7万8千kWの発電量は日本一で、その記録は当分破れないそうです。完成が待ち遠しいところです。

このほかにもまだ日本一がいくつかあるかと思えます。

平田は平凡で小さな田舎町ですが、こうしてみますと自慢できるものが沢山あります。私たちはこんな平田にもっと誇りを持って住みたいものです。

スピーチ

年男大いに語る

会員 木 佐 彰 三 (S10.3.20生)

今年6回目の亥年を迎え、72歳になりました。

この72年間走りに走ってたどり着いた72年でした。

私に人生を二度与えて頂ければ、これまでの人生を第一期とし、これからの人生は、ていねいに、ゆっくりと、やわらかい高齢の人生を送りたいと思っています。

前一畑薬師管長飯塚幸謙氏に以前頂いた色紙に「常に思わぬことは仏の稽古なり」と書いてあり、今までこの書の云わんとしている意味がよく分からなかったが、三年前家内に先立たれ、毎日仏壇の前で「般若心経」を唱えているうちに、こだわり、邪心、人間の営みの中で生まれる人の為にならない計画(夢想)を断ち切り、心を「空」にすることが仏(悟り)に近づく道であることを教えられ、仏になれなくとも、そのように努力し、今後の人生ゆっくり、やさしく、あたたかく生きていきたいと思っています。

会員 田 中 久 雄 (S10.9.28生)

抱負と決意を述べたい。

さて、抱負とは心の中に持って居る理想の計画を決定とある。亥は十二支の最後、昔は夜の十時前後を亥の刻と呼んだ。寄る年に振り返る事のみ多かりきの昨今である。私の風貌を評して長老、古老、老人、隠居、オジジ、極端な表現は無形文化財とも賀状に書いた人も居た。その通りで謙虚に身の程を思わねばならぬ。私は昭和十年九月二十八日、今の御茶屋町で朝五時誕生した。その頃父はアマチュア映画作りに趣味を持ち平田町の風景や農村風景を題材に求め後者は全日本アマチュア映画コンテストに特選を得た。最近NHKアーカイブスにデジタル化して保存してある。私は幼少頃から父の映画作りを見て育った。「門前の小僧お経を読む」たとえの通り8ミリ映画作品を撮った。平田市側から父の作った昭和十年頃の映画と明治百年(昭和43年)に撮った私の映画が評価され市の市政記録映画を16ミリフィルムで作る事になった。毎年市政記録と企画物を作り約23巻原良宗市長の市勢は映画として今に残って居る。昭和五十三年市の広報に貢献した旨表彰され市政五十周年には映像を貴重な市の財産としたとして表彰された。また写真集「子供たちの声がきこえる」を出版。わがごとCATVあの頃の平田に毎月出演、中央新報ミニコミ誌に平田今昔も連載して居る。このような経験を元に年男と平田ロータリークラブ会長、商工会議所副会頭を記念し「昭和の映画雲州平田」を出版する。この抱負は不退転の決意である。父から習った写真静止映像と映画撮影技術が年男記念写真集の出版を思い立たせた原点である。